



第2660地区

WEEKLY REPORT

大阪船場ロータリークラブ

OSAKA SEMBA ROTARY CLUB JAPAN



創立 昭和63年(1988)5月23日

事務所 大阪市中央区西心斎橋1-7-3(〒542-0086) 北炭屋町ビル

Tel.(06)6244-1008 Fax.(06)6244-1010

<http://www4.ocn.ne.jp/~semra-rc/> E-mail: semra@cocoa.ocn.ne.jp

例会 毎週月曜日・12時30分

ホテル日航大阪 Tel.(06)6244-1111

会長: 清水清一 幹事: 塩尻明夫 会報広報委員長: 松永 修

四つのテスト / 言行はこれに照してから

I. 真実かどうか . みんなに公平か

. 好意と友情を深めるか . みんなの為になるかどうか

第1136回 例会 2013年(平成25年)11月25日

(ロータリー財団月間)

本日のプログラム

(本日のプログレス 平山 明彦 S A A)

ロ - タリ - ソング 「日も星も風も」

会長の時間 幹事報告

委員会報告

ニコニコ箱報告

出席報告

クラブフォーラム 「社会奉仕部門」 松谷 廣信 会員 ~ 14:00

前回(11月18日)例会記録

プログレス 平山 明彦 S A A

1. 来客紹介 岡本 真太郎 親睦委員

・金太郎

ゲスト: 0名 地区外: 1名 地区内: 2名 合計: 3名

・君といつまでも

2. 会長の時間 清水 清一 会長

・きらきら星



我々のクラブがシンガポール RC と姉妹クラブの友好関係を一層深める為にもシンガポール RC が来年度に実施しようとしている「子供を助けよう」プロジェクトに国際パートナーとしてこのグローバルグランドに参加協力していくこうと思っています。

その内容を少しお話します。

インドネシア東爪哇州マラー市に行うこの“Help the Children”というプロジェクトは、600 名の子供にユニフォームや靴、教科書、文房具など必要な学校用品を提供し、2014 ~ 2015 年度分の学費を支給するという内容です。この前、シンガポール RC は同じ地域で 100 名の学生範囲で試験プロジェクトを開催しました。計画としてこのプロジェクトは 2014 ~ 2015 年の一年間で一人 103 ドル、600 名計 61,425 ドルの予算になります。家族月収入 25 ドル以下の参加条件を設定されます。これからもこの地域の困窮状況はイメージできると思います。

このプロジェクトはすでに地方ロータリー基金と 3420 地区ガバナーからの支持を頂きました、シンガポール RC は主国際パートナークラブで、我々の姉妹クラブであるスラバヤロータリークラブは主ホストクラブとして活動を執行します。

両クラブの協同精神の一環として、この価値深い人道主義の活動に対して御クラブから 3000 ドルの寄付をいただきたいと考えてありますが、返礼としてシンガポール RC からは御クラブが計画している GG にも喜んで協力していきたいとの言葉も頂いております。又、前回試験的に行った同地区的プロジェクトの報告書やこれからのグローバルグランドの申請書も送って頂いております。

3. ニコニコ箱報告 栗原 裕 親睦委員

渡辺 会員 ロータリー財団の卓話を致しますので、ご協力下さいませ。

松永 会員 本日例会終了後より御堂筋を渡って大丸本店の東南 30 メートルの国際楽器社4階でコーラスの第1回練習を始めますのでご参加下さる方はよろしくお願ひ申し上げます。

平山 会員 来る11月22日はいい夫婦の日です。川柳を2首紹介します。

1. いい夫婦、今ではどうでもいい夫婦。

2. お出迎え、昔はチューで、今はシュー。シューは消臭剤のシューです。皆様は如何でしょうか。

小山 会員 結婚祝いの花ありがとうございます。今日で結婚40周年です。

斧原 会員 過日のシンガポールRCウエルカムパーティの写真有難うございました。

澤田 会員 渡辺さん、小島さん、お世話になりありがとうございます。

俣野、新川、今泉、杉浦、高階、岡本(眞)、宮原、藤野、北野、井澤、大嶋、大磯、林、栗原、小島、甚田、塩尻、片岡、堀沖、岡本(茂)、中村、武田、

各会員 谷原 秀人・横峯 さくら 優勝おめでとうございます！

4. 出席報告 平山 明彦 S A A

会員総数 38名 出席率計算会員数 38名 出席員数 33名 出席率 87%

第1132回(10月21日) 修正出席率 92%

5. 委員会卓話 「ロータリー財団」 渡辺 忠之 委員長



大阪船場ロータリークラブとして、ロータリー財団への認識をどの程度お互いに高めておられるか。決められた寄付金と年末のオーケションの寄付行為がほとんどで、それ以上の理解をする機会がない様に私は感じました。

先人者が財団についてお話しして頂きましたが、それ以上の取り組みがないのは何故でしょうか？会員相互で考えなくてはならないのは、大阪船場ロータリークラブには、ほとんど資金の必要な奉仕活動がなされていないからではないかと思われます。JDMの活動に依存し、25年間多方面に向き合って来なかつた故に、寄付行為や資金の重要性を身近に感じなかつた様に思います。これは誰かではなく、会員全体で考えなくてはならない時ではないでしょうか。今、検討して頂いている里親制度や、会員各位のアイデアが必要な時かと思われます。ロータリー財団は補助金制度の改革や、ロータリアンが日々の生活やビジネス行為の中に寄付活動が出来る様なロータリーカード等、少し意識する事で見逃している事が、実は善意の寄付活動になっているのです。大阪船場ロータリーの皆様、この機会を通じて是非ロータリーカードを全員作ろうではありませんか。カードはカード入れに入らない程お持ちかと思いますが、ロータリアンの夢を叶える為にも、奉仕活動に対して依り意識を高める為にも、宜しくお願ひ致します。ロータリー財団の仕組みや補助金制度等については、大阪船場ロータリークラブの社会奉仕、国際奉仕、職業奉仕、青少年奉仕の奉仕活動を先導する様、会長、幹事、協力体制を構築していく様に努力を致します。地区補助金は計画年度と実行年度という2周期となっております。従つて来年度からはクラブの制度を見直す等をご提案致します。

12月例会予定

日	地区行事	司会	プログラム	歌	その他
2	家族月間	斧原	卓話:松谷会員	「君が代」「船場ソング」	お誕生日お祝い 理事会13:40～4F「藤の間」
9		平山	総会例会 17:00～ 年末家族懇親会 18:00～	「奉仕の理想」 (手に手つないで)	総会例会場31階 年末家族会32階
16		斧原	職奉卓話:井澤会員 北野会員	「クリスマスソング」	